

バリアフリー整備・徴収計画

鉄軌道事業者名	横浜高速鉄道株式会社
---------	------------

整備方針	
全期間	・新高島駅におけるホームドア整備 ・車両のフリースペースの増設 ・バリアフリートイレの整備 ・エレベーター、エスカレーターの更新
2021～2025年度	・新高島駅におけるホームドア整備 ・バリアフリートイレの整備 ・エレベーターの更新
2026～2030年度	・車両のフリースペースの増設 ・バリアフリートイレの整備 ・エレベーター、エスカレーターの更新
2031年度以降	・車両のフリースペースの増設 ・エスカレーターの更新

料金額				
券種	定期外		定期券	
	普通券 (磁気券)	普通券 (IC)	通勤定期券	通学定期券
設定額 (円)	10円	10円	※ 1	－
年間徴収額 (百万円)	358百万円※ 2		232百万円	
料金徴収 対象駅	みなとみらい21線の各駅			
備考	※ 1 : 1ヶ月600円、3か月1,710円、6か月3,240円 ※ 2 : 普通回数乗車券、団体乗車券、各種特殊割引乗車券を含む。一日券、企画券は対象外。			

※普通券の設定額については、大人1乗車当たりの料金を記載すること。
※定期券の設定額については、全ての定期券料金から算出した1乗車当たりの平均額を記載し、備考欄に各期間別（1か月・3か月・6か月など）の料金を記載すること。
※回数券や企画乗車券などの券種から徴収する場合は、備考欄に該当する券種名を記載するとともに、定期外の年間徴収額に該当する券種からの年間徴収額も含めて記載すること。

年間徴収額	591 百万円
徴収期間	13 年間（2023.3～2036.3）※2036年4月以降の継続について検討予定
総徴収額	7,680 百万円
総整備費	13,231 百万円 2025年度までの実績(計画)：3,386百万円 2026～2030年度の計画：5,206百万円 2031年度以降の計画：4,639百万円

バリアフリー整備・徴収計画（計画期間：2021.4～2026.3）

整備内容		
(1) 設置・改良費（附帯費用含む）		
設備名	整備数	整備費
ホームドア	1 駅 2 番線	291 百万円
バリアフリートイレ	3 駅 3 ヶ所	618 百万円※
備考	※バリアフリートイレでは、異性介助に配慮した男女共用化や一般トイレ内でのバリアフリー設備の拡充（機能分散）、非常時安全性の向上等の改良に係る費用を計上。	
(2) 更新費（附帯費用含む）		
① 設備更新		
設備名	整備数	整備費
エレベーター	5 駅 14 基	763 百万円
行先表示器	5 駅	266 百万円
駅構内案内サイン	2 駅	151 百万円
その他	6 駅	290 百万円
備考	※その他には、横浜駅エレベーター・エスカレーターの部分更新、定位置停止装置、触知案内盤、誘導チャイム等の更新を含む	
② 車両更新		
路線名	整備数	整備費
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用（駅務機器改修費・駅頭表示改修費など）		
維持管理費（附帯費用含む）	939 百万円	
収受システム改修費	25 百万円	
その他費用 （駅務機器改修費・駅頭表示改修費など）	43 百万円	
備考		

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

計画期間内の整備費（（1）～（3）の合計）	3,386 百万円
-----------------------	-----------

計画期間内の料金徴収によるホームドア設置番線数・段差解消駅数			
ホームドア設置番線数		2 番線	
段差解消駅数	一経路確保駅	-	駅
	二経路以上確保駅	-	駅

バリアフリー整備・徴収計画（計画期間：2026.4～2031.3）

整備内容		
(1) 設置・改良費（附帯費用含む）		
設備名	整備数	整備費
車両のフリースペース	3 編成 18 両	195 百万円※ 1
バリアフリースペース	2 駅 2 ヶ所	456 百万円※ 2
備考	※ 1 車両のフリースペースは増設18両 ※ 2 バリアフリースペースでは、異性介助に配慮した男女共用化や一般トイレ内でのバリアフリー設備の拡充（機能分散）、非常時安全性の向上等の改良に係る費用を計上。	
(2) 更新費（附帯費用含む）		
① 設備更新		
設備名	整備数	整備費
エレベーター	2 駅 4 基	166 百万円
エスカレーター	3 駅 33 基	1,948 百万円
行先表示器	6 駅	276 百万円
駅構内案内サイン	5 駅	252 百万円
その他	6 駅	213 百万円
備考	※その他には、横浜駅エレベーター・エスカレーターの部分更新、定位置停止装置、触知案内盤、誘導チャイム等の更新を含む	
② 車両更新		
路線名	整備数	整備費
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用（駅務機器改修費・駅頭表示改修費など）		
維持管理費	1,695 百万円	
収受システム改修費	- 百万円	
その他費用 （駅務機器改修費・駅頭表示改修費など）	5 百万円	
備考		

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

計画期間内の整備費（（1）～（3）の合計）	5,206 百万円
-----------------------	-----------

計画期間内の料金徴収によるホームドア設置番線数・段差解消駅数			
ホームドア設置番線数		-	番線
段差解消駅数	一経路確保駅	-	駅
	二経路以上確保駅	-	駅

バリアフリー整備・徴収計画（計画期間：2031.4～）

整備内容		
(1) 設置・改良費（附帯費用含む）		
設備名	整備数	整備費
車両のフリースペース	3 編成 18 両	180 百万円※ 1
備考	※ 1 車両のフリースペースは増設36両	
(2) 更新費（附帯費用含む）		
① 設備更新		
設備名	整備数	整備費
エスカレーター	3 駅 34 基	1,617 百万円
行先表示器	6 駅	532 百万円
駅構内案内サイン	4 駅	250 百万円
その他	6 駅	485 百万円
備考	※その他には、横浜駅エレベーター・エスカレーターの部分更新、定位置停止装置、触知案内盤、誘導チャイム等の更新を含む	
② 車両更新		
路線名	整備数	整備費
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用（駅務機器改修費・駅頭表示改修費など）		
維持管理費	1,575 百万円	
収受システム改修費	- 百万円	
その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)	- 百万円	
備考	※2036年度以降の本制度活用の継続について検討予定のため、本制度終了時に必要となる収受システム改修費及びその他費用について、本様式には計上していない。	

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

計画期間内の整備費（（1）～（3）の合計）	4,639 百万円
-----------------------	-----------

計画期間内の料金徴収によるホームドア設置番線数・段差解消駅数			
ホームドア設置番線数		-	番線
段差解消駅数	一経路確保駅	-	駅
	二経路以上確保駅	-	駅